

# 事前課題（表紙）

様式	Web 提出	当日持参 6部
表紙(本紙)	○	○
書式 1-① 事例報告書	○	○
書式 1-② エコマップ	○	○
書式 1-③ 関係性	○	○
書式 2-① ストレングス・アセスメント票	○	○
書式 2-② 地域変革のためのヒアリングシート	○	○

※表紙、書式 1-① ～ 書式 2-② の順番にホッチキスで止めたものを 1 部として 6 部研修当日に持参してください。提出前に不足がないか確認してください。

※Web 提出につきましては、当財団 HP よりご提出ください。

**令和 6 年 1 1 月 20 日（水）必着**

日程 (A・B・Cのいずれか)	
受講番号	
氏名	

仮名:	性別:	年齢:	障害名(程度)・区分:
福祉サービスの利用状況:			
検討したいこと(相談支援専門員が支援の中で困っていること)			
主訴(相談に来た理由、どうしたいか)			
利用者の特徴			
生活歴(どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどのエピソード)			
社会的状況(家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など)			

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等) \* 複数可

--

②いつ頃から困ったことが生じたのか

--

③主訴に対して様々な情報から、あなたはどのように解釈したか(見立て)

--

④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか(支援経過)

--

⑤その結果改善されたか

--

(検討)意思決定支援の展開で気をつけること

※演習で記入するので、空欄をお願いします。

--

(検討)検討課題に対して具体的な支援方法

※演習で記入するので、空欄をお願いします。

--

## エコマップ

チームアプローチ における支援方針	
----------------------	--

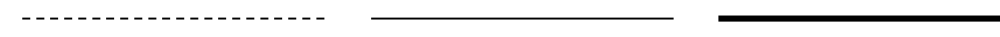
チームアプローチ の展開でこまっ ていること	
------------------------------	--

社会資源 (人)

地域資源 (人)

<関係> 弱い ←

→強い



葛藤

# 関係性

書式1-③

利用者と地域資源(人)の関係性

--

利用者と社会資源(人)との関係性

--

相談支援専門員と地域資源(人)および社会資源(人)との関係

--

チームアプローチの展開でこまっていることへの対応策

※演習で記入するので、空欄をお願いします。

--

# ストレングス・アセスメント票

書式2-①

書き出し【●】本人の言葉

【○】家族等の言葉

【・】事実や行動(社会資源等)

A 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人:環境	B (未来の)希望:願望:熱望 何がしたいか:何がほしいか	C 過去の資源 どんなストレングスを使ってきたか
------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------

## 家・生活環境 (住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)

--	--	--

## 経済状況

--	--	--

## 日中活動 (就労、教育、専門知識、通所、通学含む)

--	--	--

## 社会的支援 (家族、友人との関係、所属、サポートネットワーク、支援的人間関係)

--	--	--

健康状態（快適な状態、受診など医療を含む）

--	--	--

余暇活動（趣味、レクリエーション）

--	--	--

Spirituality 文化 / 生きがい（大事にしていること、人生観、家族観、価値観）

--	--	--

わたしの希望・願望の優先順位は

1)
2)
3)
4)

追加コメント・わたしを理解するために大切なこと

## 地域変革のためのヒアリングシート（利用者から見た地域の状況）

### 【1】利用者が参加・所属している地域組織または参加したがっている組織について

組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どういう条件を整えば、もっと参加しやすくなるか？	

＜注＞自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・  
各種〈連続〉講座・ボランティアグループ

### 【2】利用者の交友相手〈友達〉について

どんな関係の人	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか	

＜注＞井戸端会議の相手・同窓生・趣味友達・講座友達・級友・

### 【3】利用者が所属している当事者組織について

どんな組織に属しているか	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	
もっと機能するためには、どういう支援が必要か	
利用者はどんな役割を果たしたらいいか	
その組織は利用者にとってどんな意味があるか	



## 【4】利用者に（福祉的に）関わっている人や組織・企業〈商店〉・隣人について

どんな関わりをしてきているか	
もっとすすんだ関わりをしてもらうには、どんな条件が整備されたらいいのか	
こちらとしてどんな努力をしたらいいか〈どんな仕掛けを施したらいいか〉	

<注>行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい。

## 【5】利用者が見込んでいる相手〈相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人〉

行きつけの商店・診療所の医師・隣人について

その利用者が見込む相手はどういう条件があるのか	
利用者が見込んでいる人が、見込まれたことをきちんとしているか。	
していないとすれば、それはなぜか	
見込まれたことをその人が実行するには、どういう働き掛けが必要なのか。	

<注>なぜその人を見込んでいるのか。

## 【6】利用者の親族で、利用者が頼みにしている相手について

その相手は、利用者の期待に添うように行動しているか	
していないとすればそれはなぜか	
どうしたら期待に添うように行動するようになるか	
他の親族はなぜ頼りにならないのか	
どうしたらもっと頼りになる親族になるのか。	

## 【7】利用者の〈これから戻る〉近隣は、利用者にとっていい近隣か。

どのように頼りになるか	
どのように頼りにならないか	
どんな人材が存在しているか〈世話焼き・口利き・など〉	
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたらいいか	

## 【8】利用者の周囲で、活用できそうな地域資源はあるか。

どんな資源が分布しているか〈いわゆるボランティアや民生委員、福祉推進員だけでなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各種公共機関なども〉	
それぞれどんな資源性を持っているか	
それぞれ利用者にどんな資源になりうると思うか	
それらの資源を利用者に振り向けるにはどんな仕掛けが必要か	
それぞれがより強力な資源になるには、どんな仕掛けが必要か	

## 【9】利用者にとって「隠れた資源」となっているもの〈利用者を元気にさせているもの〉について

あるとすればそれは何か	
-------------	--

<注>特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目。

【10】 利用者は地域に対して、どんな資源性を有しているか。

資源性とそれが機能している対象を羅列	
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか	
利用者が潜在的に有している資源性は何と何か	
それぞれ誰に対して資源となりうるか	
利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か	

＜注＞隣人の相談相手、同じハンディを持った人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など。

【11】 利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようか。お互い〈資源同士〉、その利用者に関わっていることをどの程度承知しているようであるか	
もったときちんとネットワークができるためには、どんな支援が必要か	

【12】 利用者の自宅〈居住場所〉は、

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか	
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。〈利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など〉	

【13】 利用者のセルフケアマネジメント能力〈自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等〉の評価をしてみよう。

セルフケアマネジメント能力の評価	
------------------	--

<注>人に好かれる〈人が寄って来る〉・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・だれにも気軽に助けを求めることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている。自分もお返しができる・自分の〈他人に〉できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かける・人を呼び込む場〈空間〉を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者〈秘書?〉を確保している